

市民の多彩な表現の場として、 本格的ライブハウスが小松市に誕生!

小松市民交流プラザ「The MAT'S」様



心揺さぶるサウンドと歓声が交じり合い、
観客と演奏者が一体となるライブシーン

そこに、TOA...

全国でも珍しい、行政が整備したライブハウスとして注目を集める石川県小松市のThe MAT'S(ザ・マッツ)様。

音楽はもとより、ダンス、演劇、スポーツ観戦など、若い世代の多彩な表現活動の拠点としてスタートしたばかりの施設は、プロのミュージシャンのライブにも対応する本格的な音響設備や照明装置を備えた250人収容のホールをはじめ、ラジオの電波を使って情報発信ができるラジオスタジオも完備。充実した施設を市民のみなさんがリーズナブルな料金で利用することができます。

ライブやDJイベントなどで使用されるハイレベルな音響設備には、全国のライブハウスでも実績のあるTOAのコンサート用スピーカーシステム「Z-DRIVE」をご採用いただいています。著名なミュージシャンを招いたオープニングイベントでは、迫力あるサウンドが、多くの市民のみなさんを感動と興奮で包みました。



小松市役所
都市建設部
都市計画課

副参事

中田吉彦様

「小松にライブハウスをつくりたい」という市民の方々の熱い想いから、この施設はできあがりました。計画当初、行政がライブハウスをつくるという先例のない計画に対して戸惑いもありましたが、市民参加の懇話会においてワークショップを重ね、施設の規模・デザイン・音響設備などについてみなさんの意見を広く集めた結果、県内外のライブハウスにひけをとらない本格的なライブスペースをつくることができました。今後は、ライブに限らず、市民のみなさんの様々な表現活動の場として活用していただきたいと思います。



コンサート用スピーカーシステム
Z-DRIVE「SR-F3」「SR-L3」



パワーアンプ「IP-600D」
デジタルプロセッサー「DP-0206」

施主：小松市様
設計：株式会社 国土開発センター様
施工：北陸通信工業株式会社様
アクセス：JR小松駅高架下 駅より徒歩1分）
URL：http://www.the-mats.com/

〈特集：防犯優良マンション認定制度 第3回〉

マンション防犯設計のポイント(屋内編)

マンションの全国統一防犯基準としてスタートした「防犯優良マンション標準認定基準」。
3回目となる今回は、防犯カメラの設置が必須とされている共用玄関扉とエレベーターかご内についてご説明します。



共用玄関扉とエレベーターかご内は防犯カメラの設置が必要!

「防犯優良マンション標準認定基準」では、共用玄関扉とエレベーターかご内への防犯カメラの設置が必須となっています。共用玄関扉はマンションへの不審者のチェックが目的で、エレベーターかご内は一旦扉が閉まると外部から目が届かなくなるというエレベーター内での犯罪防止の意味からも防犯カメラの設置は非常に重要です。さらに、国土交通省の「防犯に配慮した共同住宅に係わる設計指針」によると、防犯カメラを設置する際には、見通しの良さや犯罪の意志の抑制等の観点から有効な位置や明るさ等を検討して、適切に配置するように定められています。以下に、共用玄関扉とエレベーターかご内における防犯カメラ設置のポイントについて説明します。

マンション部位ごとの防犯カメラ設置基準

部位	防犯カメラの設置
共用玄関	条件付き必須
共用玄関扉	配置必須
共用玄関以外の共用出入口	条件付き必須
共用メールコーナー	条件付き必須
エレベーターホール(共用玄関と同じ階)	条件付き必須
エレベーターホール(それ以外の階)	条件付き必須
エレベーターホール	条件付き必須
エレベーターかご内	配置必須
自転車置場・オートバイ置場	配置必須
駐車場出入口	配置必須

(「防犯優良マンション標準認定基準」より)

【共用玄関扉】ポイントは逆光対策。暗い所も明るい所も安定した画像を確保する必要があります。

不特定多数の方が出入りする玄関部分は、防犯上、特に重要なポイントです。しかし、室内の暗い位置から、背後から自然光を受けた明るい場所を監視することから、通常のカメラでは鮮明な画像を得にくく、監視の難しい部位でもあります。

そこで大切になってくるのが逆光対策です。解決策としては、ワイドダイナミック機能を搭載したカメラを使用することをおすすめします。ワイドダイナミック機能とは、「暗いところは明るく、明るいところは暗くすることで、暗いところも明るいところも両方見えるようになる」ので、逆光時においても明るい所と暗い所の両方を安定させることで鮮明な画像を実現することができます。



ワイドダイナミック機能OFF
暗い所を見えるようにすると、明るい所が見えなくなります。

ワイドダイナミック機能ON
明るい所を見えるようにすると、暗い所が見えなくなります。

ワイドダイナミック機能ON
明るい所・暗い所がともに安定した鮮明な画像として確認できます。

逆光時に強いワイドダイナミック機能搭載カメラ



同軸ワンケーブルカメラ C-CV150W



ドーム型ワンケーブルカメラ C-CV250W-3

【エレベーターかご内】死角のない配置と工夫が大切です。

マンションのエレベーターかご内は、外部からの見通しがきかない場所であり、そのため犯罪が起こりやすい場所でもあります。かご内の様子を確認できる位置と角度を考えて、防犯カメラを設置することが大切になります。1台で広い角度を確認できる広角タイプのカメラを選択することが大切になります。

エレベーターかご内の監視に最適な広角タイプカメラ



ドーム型カラーカメラ C-CV202-2

「ワイヤレスマイクロホン」の多チャンネル使用に関する注意点

学校の教室、講義室のような連続した部屋のあるフロアや大きな会議室などで30チャンネル同時使用される800MHz帯ワイヤレスマイクロホンについて、使用上知っていたら得する知識や注意点についてご紹介します。

30チャンネル同時使用とは？

800MHz帯ワイヤレスマイクロホンは、全30チャンネルをお互いにもつとも影響の出にくいチャンネルでB1～B6の6グループに分け、1つのグループだけを使うことで、一空間最大6チャンネルまでのワイヤレスマイクロホンを同時使用することができます。学校の教室や講義室、ホテルの宴会場などでは、ワイヤレスマイクロホンを多数使用したい場合があります。TOAのワイヤレスマイクロホンなら、設定を変更することで、同一空間で混信することなく、30チャンネルまでワイヤレスマイクロホンの使用が可能です。

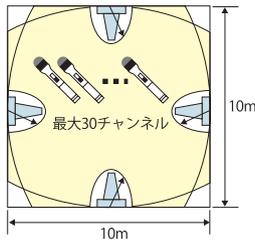
どれくらいの範囲で使えるの？

1つのエリアで使うチャンネル数により、使用できる範囲が異なります。

A 16～30チャンネルのワイヤレスマイクロホンを同時に使用する場合

アンテナから10mの範囲で使用できます。アンテナ4本で10m×10mの部屋で使用できます。

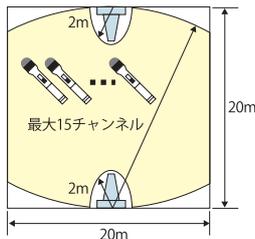
※ダイバシティシステムですので、アンテナは2本以上必要です。



B 7～15チャンネルのワイヤレスマイクロホンを同時に使用する場合

ワイヤレスマイクロホンを使用できる範囲は、1つのアンテナから20m以内です。アンテナ2本で20m×20mの部屋で使用できます。

※ダイバシティシステムですので、アンテナは2本以上必要です。

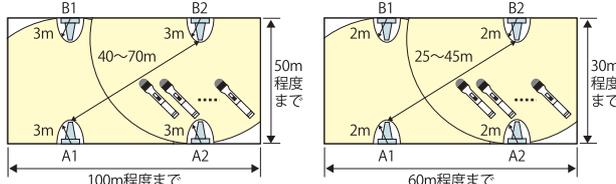


C 6チャンネルまでのワイヤレスマイクロホンを同時に使用する場合

ワイヤレスマイクロホンの送信出力切換スイッチ※を変更することで、使用できる範囲が変わります。下記の①の場合は「H(出力6mW)」、②の場合は「L(出力2mW)」に設定してください。

※送信出力切換スイッチはワイヤレスマイクロホンの電池装着部の下にあり、多チャンネル使用の際にも使用します。

アンテナを4本設置して、ワイヤレスマイクロホンを使用できる範囲の目安



①運動場のような広い場所で使用する場合
見通しのよい屋外において、アンテナから100mの範囲で使用できます。

②運動場や体育館のような広い場所で、ワイヤレスマイクロホンの電池消費を抑え長時間使用する場合
見通しのよい屋外において、アンテナから60mの範囲で使用できます。

設定の仕方は？

設定は以下のようになります。

ワイヤレスチューナー
フロント設定スイッチ



※下記の設定内容は代表例であり、実際の使用環境に応じた設定が必要な場合があります。

A 16～30チャンネルのワイヤレスマイクロホンを同時に使用する場合

- ①周波数表の30チャンネル使用時のグループの中から最大30チャンネルを選び、表の表示になるように、ワイヤレスマイクロホンとワイヤレスチューナーのグループ番号とチャンネル番号を設定します。
- ②ワイヤレスマイクロホンの送信出力切換スイッチを「L」側にします。
- ③チューナーの前面パネル右側にあるアッテネーターを0dBの位置にします。
- ④アンテナのつなごう1台目の混合分配器の前面パネル右側にあるアッテネーターを-20dBにします。
- ⑤その他の混合分配器のアッテネーターを-6dBにします。
- ⑥アッテネーター付きのワイヤレスアンテナYW-550を使う場合は、そのアッテネーターを0dBにします。

B 7～15チャンネルのワイヤレスマイクロホンを同時に使用する場合

- ①周波数表の15チャンネル使用時の中から、奇数または偶数のどちらのグループを使用するかを決め、そのグループの中から最大15チャンネルを選び、その表の表示になるようにワイヤレスマイクロホンとワイヤレスチューナーのグループ番号とチャンネル番号を設定します。
- ②ワイヤレスマイクロホンの送信出力切換スイッチを「L」側にします。
- ③チューナーの前面パネル右側にあるアッテネーターを0dBの位置にします。
- ④混合分配器の前面パネル右側にあるアッテネーターを-20dBに設定します。
- ⑤アッテネーター付きのワイヤレスアンテナYW-550を使う場合は、そのアッテネーターを0dBにします。

30チャンネル使用時周波数 (MHz)						15チャンネル使用時グループ・周波数 (MHz)							
スイッチの設定	チャンネル No.	周波数	スイッチの設定	チャンネル No.	周波数	スイッチの設定	奇数グループ	偶数グループ	周波数	スイッチの設定	奇数グループ	偶数グループ	周波数
11	1	806.125	43	16	808.000	11	1	806.125	43	16	808.000		
21	2	806.250	52	17	808.125	21	2	806.250	52	17	808.125		
12	3	806.375	34	18	808.250	12	3	806.375	34	18	808.250		
22	4	806.500	53	19	808.375	22	4	806.500	53	19	808.375		
31	5	806.625	25	20	808.500	31	5	806.625	25	20	808.500		
41	6	806.750	35	21	808.625	41	6	806.750	35	21	808.625		
32	7	806.875	54	22	808.750	32	7	806.875	54	22	808.750		
23	8	807.000	26	23	808.875	23	8	807.000	26	23	808.875		
13	9	807.125	15	24	809.000	13	9	807.125	15	24	809.000		
61	10	807.250	44	25	809.125	61	10	807.250	44	25	809.125		
33	11	807.375	36	26	809.250	33	11	807.375	36	26	809.250		
42	12	807.500	45	27	809.375	42	12	807.500	45	27	809.375		
51	13	807.625	16	28	809.500	51	13	807.625	16	28	809.500		
14	14	807.750	55	29	809.625	14	14	807.750	55	29	809.625		
24	15	807.875	46	30	809.750	24	15	807.875	46	30	809.750		

■各アッテネーター・送信出力切換スイッチの位置



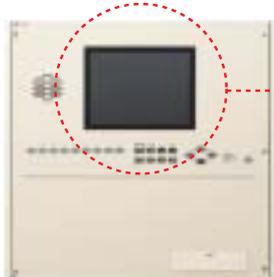
WT-1824

WM-1220

YW-550

壁掛型デジタルレコーダー(9局用)

見る! 録る! 再生する! をコンパクトにまとめた
オールインワンデジタルレコーダーです。



壁掛型9局デジタルレコーダー
C-DV091W-6
オープン価格



リモートコントローラー
C-RM1000
(ケーブル付属)
希望小売価格 ¥152,250
(税抜 ¥145,000)



インターフェースユニット
C-RF1000
希望小売価格 ¥47,250
(税抜 ¥45,000)

1画面表示のほか、4画面、9画面
の多画面表示も可能です。
画面はハメコミ合成です。

ここがポイント!

モニター、カメラドライブユニット、デジタルレコーダーを
1つのボディに集約

横450mm、縦442.2mm、奥行き135.1mmのコンパクトなボディに、モニター、カメラ電源供給機能、デジタルレコーダーを集約しています。ラックが置けない狭い場所でも壁に取り付けるだけで最大9台のカメラ映像の確認と記録ができます。

8インチ液晶モニターで多彩な画面表示

ライブ映像はもちろんハードディスクに記録された再生映像も本モニターで確認できます。またライブ映像、再生映像ともに多画面表示が可能です。

大容量600GBハードディスク内蔵

長時間の高画質記録が可能です。また300GBのハードディスクを2台搭載。両方同時に映像データを記録することで(ミラーリング機能)万一のデータ破損を防ぐことができます。

遠隔操作が可能

専用のリモートコントローラー(C-RM1000)を用意すれば、本機だけでなく、本機に接続されたコンビネーションカメラの遠隔操作も行えます。

大型車載用システム(リモートミキサー、パワーアンプ、車載用ホーンスピーカー)

有権者の心に響くメッセージを最適な音でお届けする大型車載用システム。
ハウリング対策など、機能面も充実。シンプルな操作で、使い方も簡単です。



ハウリングに強い
明瞭性UP
機動性UP
ワイヤレス対応可

リモートミキサー
MX-1200D
入力:ワイヤレスマイク×2、
有線マイク×2、予備入力×1
希望小売価格 ¥84,000 (税抜 ¥80,000)



ハウリングに強い

パワーアンプ
CA-1200D
定格出力120W(60W×2ch)
希望小売価格 ¥120,750 (税抜 ¥115,000)



訴求力UP
明瞭性UP

車載用ホーンスピーカー
SC-61 [入力60W] SC-121 [入力120W]
希望小売価格 ¥79,800 希望小売価格 ¥119,700
(税抜 ¥76,000) (税抜 ¥114,000)

ここがポイント!

5つの入力端子を装備

ワイヤレスマイク×2、有線マイク×2、予備入力×1の計5つの入力端子を装備。ワイヤレスマイクは2本同時に使えて便利です。

ワイヤレスチューナーは
シングル、ダイバシティともに対応可能

別売のWTU-1720またはWTU-1820を装着できます。ダイバシティを使用することで、音声の途切れなどが少なくなります。

音質調整も簡単

音質調整は クリア(低域カットによる明瞭性アップ) ソフト(高域カットによるハウリング軽減) のスイッチを押すだけの簡単操作。

ここがポイント!

各ch毎に半固定ボリュームを装備

予め各ch毎にボリュームを調整しておくことにより、ハウリングを軽減することができます。

メンテナンス性を向上

ブレーカー、ヒューズ交換口を前面に配置することで、メンテナンス性を向上しています。



ここがポイント!

薄型デザイン

よりフラットな形状にデザインをリニューアル。看板面積が最大限にとれます。

収納性アップ

積み重ねが可能な形状で、2台重ねて取付でき、収納性も向上。

音質、迫力アップ

低域特性の改善と音質解析で最適化されたホーン形状により、クリアでめめらかな音質、迫力のある音をお届けします。